

羽村市で発生したパラシュートの一部の落下について（要請）

平成30年4月10日、北関東防衛局からの連絡により「米軍によると、本日（4月10日）、午後5時ごろ、横田基地において、訓練中のパラドロ隊員1名が異常を感じたため、パラシュートの一部を切り離す措置を執った。この際、パラシュートの一部が羽村第三中学校に落下した。当該パラドロ隊員は安全理に基地に降下した。けが人、物的損害は今のところ確認されていない。横田基地としては、訓練中にこのような事態が生じたことは重大な問題と考えており、遺憾と思っている。原因究明を行っていくとのこと。この際、業務課長から横田基地広報部長に対し、遺憾の意及び再発防止を口頭で伝えたところ。」との情報を得ました。

パラシュート降下訓練については、これまでも当市上空を旋回することが多く見受けられています。今回の訓練中の事故については、現段階で被害は確認されていませんが、基地外の公共施設である学校に落下したため、ことに多くの住民に不安を与えかねません。

については、事故の発生に対して嚴重に抗議するとともに、下記の事項について要請します。

記

- 1 事故の経緯を明らかにするとともに、事故の原因究明及び再発防止の徹底を図ること。
- 2 訓練に係る点検整備を強化し、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を当市に速やかに提供すること。

平成30年4月12日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官 ケネス E. モス大佐 殿

あきる野市長 澤井 敏 和

